

その他活動上の特記事項

1 防火シャッターの作動状況の把握について

内部進入箇所により異なるが、煙及び物品の荷積み状況により部分的な開閉は確認できたが、濃煙状態の中なのでほとんど確認できていない。

2 県ヘリと地上部隊間での情報共有について

当組合に於いては、映像を受信する装備がなく、近隣の消防本部（川越地区消防局）が装備しているヘリテレ映像装置を共有することにより、県ヘリと地上部隊間の情報共有は図れた。

3 非常口進入口及びそれに類似するものの活用状況について

西側2階に2箇所・3階に4箇所、東側2階に2箇所が設置されているが、内部は防火戸・棚等が障害となり有効な放水はできない状況であった。また、他の進入口については、隊員の安全を最大限に考慮し危険と判断した場合は進入統制をした。

4 ドローンの活用について

さいたま市消防局が運用し、出火建物の屋根上部は確認できたが、それ以上の有効な情報提供が得られなかったものである。